

山紫水明 豊かな自然も広がる

京都の魅力は歴史文化遺産だけではない。山紫水明と言われる豊かな自然そのものの1つだ。特に京都市から西の方角に当たる京都市内の各地域には、日本の原風景とも言える美しい緑も広がる。「もうひとつの京都」、特に「森の京都」の魅力を紹介し、新たな観光の形を見てみよう。



莊厳な雪霽気の冬の愛宕
神社参道

「森の京都」などで新たな取り組み

は、京都駅に近い梅小路から
美山、南丹、京丹波にかけて
だ。嵯峨野や乙訓の竹林、美
山や京北の杉林など緑地に群
生する植物が豊かで変化に富
む。京都府と府中部地域の6
市町でつくる森の京都地域と
も重なっている。

府は同町で「MIYAMO BI」と名付けた2人乗りの超小型電気自動車（EV）を里山めぐりの観光客に貸し出すことを計画している。豊かな自然と人々の暮らしが共存するまちをゆきり見てもらう新しい観光の提案だ。

は「いざれガイドを付けることも考えており、環境に最大限配慮した新たな観光スタイルをつくりたい」と話す。

南丹市内の園部町にある府立のり渓自然公園では、ホタル並みの快適なサービスを受けながら自然との触れ合いを楽しめるキャンプ「グランピング」の施設が、家族連れなどの人気を集めている。森の収穫祭を意味する食の祭典「ハーベストガラ」が昨秋に開かれ、新



4月7日にレンタルが始まるEV「MIYAMO BI」（京都府提供）

貸しEVやグランピング

同町を含む京都丹波高原国定公園の情報発信基地「京都丹波高原国定公園ビジターセンター」（愛称「京都の森の森」）にて、4月7日に事業を開始するタブレット端末を貸し出し場所にし、4月7日には京都府の本田一泰企画理事を紹介する。M I Y A M O B I の利用料金は、京都府の対象地域で、これらの地域の観光を振興するDMO（観光地経営組織）を設立した。例えば、森の京都の対象地域になった南丹市美山町は、かやぶきの里や芦生の森など名所で知られ、天然林普查などの民家が残る。日本の原風景を感じさせる地域の1つといえるだろう。

梅小路、新駅開業控え注目

12年に開業した京都水族館は、イルカのショーやペ

新後の京都経済の発展をけん引してきた

京阪ボールディングスやJR西日本、ロ

イヤルホテルなどが

ホテル計画を相次いで打ち出しており、開業ラ

ンシヨとなる。これらの木

テルから歩いて回れる梅小

路地区の注目度が高まりそうだ。

京都市電（明治時代の路面電車の改造車両）が走る市電広場も楽しい。

京都駅周辺では、京阪ボールディングスやJR西日本、ロイヤルホテルなどが

梅小路公園の新駅が誕生し、この地区的観光が便利になるためだ。

「お茶の京都博」が復元されるなど、緑豊かな空間として京都市に愛される梅小路公園。公園を開拓するに魅力あふれ

る観光施設が建っている。

梅小路公園の新駅が誕生し、この地区的観光が便利になるためだ。

「お茶の京都博」が復元されるなど、緑

豊かな空間として京都市に愛される梅小路公園。公園を開拓するに魅力あふれ

る観光施設が建っている。

梅小路公園の新駅が誕生し、この地区的観光が便利になるためだ。</